



<プレスリリース>

2024年3月13日
スペースワン株式会社

カイロスロケット初号機の打上げ結果について

スペースワン株式会社（以下：スペースワン）は2024年3月13日にスペースポート紀伊よりカイロスロケット初号機を打上げミッション4のステップ1*まで到達しました。

カイロスロケット初号機は、ステップ2の段階で、飛行中断処置を行いました。現在、詳細な飛行データの確認を実施しております。

*添付資料（スペースワンの5つのミッションと、ミッション4の詳細より）

ミッションが未到達であったことに関してお客さまをはじめ、応援して下さった皆さまのご期待に沿えなかったこととお詫び申し上げます。スペースワンは一刻も早く原因を究明し、打上げを再開して、小型ロケットによる打上げサービスの実現により、宇宙ビジネスのさらなる拡大に貢献してまいります。

以上
お問い合わせ先
スペースワン株式会社 広報担当
Email: pr@space-one.co.jp



スペースワンについて

スペースワンは、小型人工衛星打上げに特化した宇宙輸送サービスを提供します。和歌山県串本町に位置する専用の発射場「スペースポート紀伊：SPK」と、小型ロケット「[カイロス](#)：KAIROS」で、宇宙活動の自立性を確保することで、契約から打上げまでを「世界最短」で完了するとともに「世界最高頻度」の小型ロケットの年間打上げ回数を目標に掲げています。スペースワンは、キャノン電子株式会社、株式会社 IHI エアロスペース、清水建設株式会社、株式会社日本政策投資銀行の宇宙事業の経験と技術を結集し、ユーザーの多様な打上げニーズに応える低コストで確実な次世代宇宙インフラの構築を目指して、2018年に設立されました。

<https://www.space-one.co.jp/>

スペースポート紀伊について

「[スペースポート紀伊](#)：SPK」は、本州最南端の和歌山県串本町に位置する日本で初めての民間のロケット打上げ射場です。宇宙へのアクセスを最短で実現するための包括的なインフラサービスを提供しています。SPKは、南方と東方に向けたロケットの打上げに適した立地条件を備えており、打上げる軌道や時期に柔軟性を有しています。羽田空港から南紀白浜空港を経由して約2時間20分、関西国際空港から約2時間30分の高いアクセス性を持ち、地上と宇宙をつなぐ宇宙港の役割を果たします。

宇宙アクセスへの需要は拡大する宇宙ビジネス市場とともに増加し、多様化しています。今後は多数の小型衛星をひとつのシステムとして運用するコンステレーションが、打上げ需要をさらに加速させる見込みです。このようなニーズをスペースワンは「on time, on orbit」、ユーザーが望むタイミングに、望む軌道に衛星を運ぶことと認識しています。柔軟な対応を可能とする専用打上げ射場と小型ロケットを備えることで、国内外のユーザーの需要を取り込み、日本及び世界の宇宙産業の発展に貢献していきます。

<https://www.space-one.co.jp/site/>